

いしおか

5・1

No.134



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

主 な 内 容

- 平成 23 年度 市政運営の基本方針
元氣いしおかの実現に向けて P2
- 総務省の行政相談
めざそう住みよいまちづくり P4
- ごみ出しはルールを守って P11
- 地上デジタル放送を楽しむための
地デジ相談会開催 P17
- 震災に便乗した悪質商法に注意を P22

ほうじいん 寶持院山門

(染 谷)

この山院の寺号は、こんごうさんみつごんじ金剛山密巖寺
寶持院ぶざんほといい、宗派は真言宗豊山派ゆうべんしょう
に属しています。文安元年、宥辨上にん
人の開基です。

境内には山門のほか、本堂・鐘楼・
庫裡くりなどがあります。



元気いしおかの 実現に向けて

市議会第1回定例会において、久保田健一郎市長は新年度に向けての市政運営に関する所信と施策の概要などを述べました。
これからのまちづくりの重点的な取り組みの概要をお知らせします。

市政運営の基本的な考え方

平成23年度予算編成においては、限られた資源を効果的かつ効率的に活用し、市民生活の向上を第一と考え、最大限努力していきます。

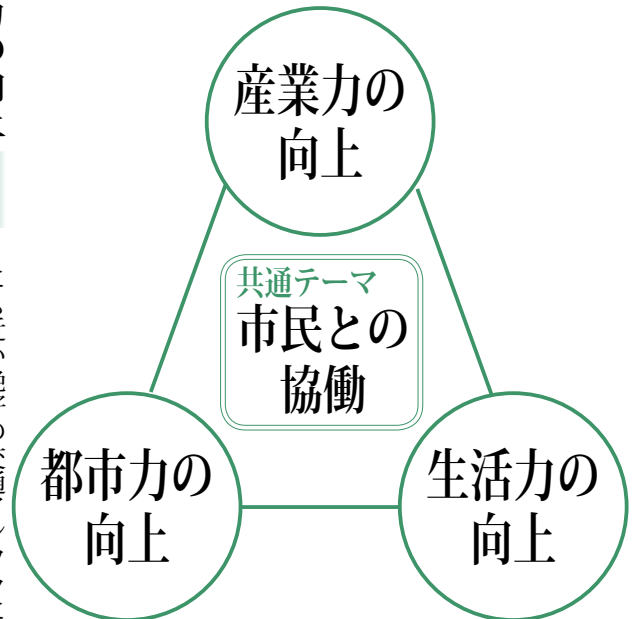
そのため、まちづくりをけん引する「リーディングプロジェクト」を新たに創設いたしました。

地域の元気は、市民の元気からもたらされるものです。そのためには、働く場所の確保が必要であり、企業誘致の取り組みや地場産業の充実などが必要となります。また、安心して働いて暮らすためには、子どもからお年寄りまで、市民誰もが健やかに暮らせる環境の充実が必要です。

そこで、産業力の向上、都市力の向上、生活力の向上に寄与する施策をこのリーディングプロジェクトに位置付けたものであります。

まちづくりをけん引する

リーディングプロジェクト



産業力の向上

産業力の向上では「産業立地プロジェクト」と「自然のめぐみを活かしたアグリプロジェクト」の二つのプロジェクトを掲げました。

「産業立地プロジェクト」では、石岡市の強みである都心からのアクセスの良さなどに加え、様々な優遇制度で企業立地を強力にサポートし、市の産業力を向上させていきます。

市は、都心から70km圏に位置し、常磐自動車道や北関東自動車道、そして茨城港、茨城空港

にも近い絶好の交通インフラに恵まれています。

また、石岡小美玉スマートインターチェンジが開通し、さらなる交通インフラの整備・充実が図られます。



3月24日に開通したスマートインターチェンジ



上青柳の田園風景

「自然のめぐみを活かしたアグリプロジェクト」では、広大な農地と森林資源を最大限に活用し、市の産業力を向上させていきます。

さらに、新たな農林業の担い手の確保に力を注ぎ、将来に渡り持続可能な農林業を目指していきます。

都市力の向上

都市力の向上では「中心市街地の活性化プロジェクト」を掲げました。

市内外の重要な交通結節点であるJR石岡駅の機能を強化するとともに、県内で唯一、国から認定を受けている「中心市街

地活性化基本計画」に基づき、中心市街地の活性化を図ること、都市力の向上を図ります。

石岡市は、石岡駅西側を中心に古くから商業のまちとして栄えてきました。しかし、近年は郊外沿道に大型商業施設が立地することにより空洞化が進み、空き店舗も目立つようになってきました。今後も活性化のための事業に取り組んでいきます。



整備を待つ石岡駅

生活力の向上

生活力の向上では「安全・安心まちづくりプロジェクト」と「子育て・教育応援プロジェクト」

の二つのプロジェクトを掲げました。

「安全・安心まちづくりプロジェクト」では、近年の災害状況から防災知識の普及啓発、防災訓練の実施などにより市民の防災意識を高め、市民の生命や財産を守り、安心して暮らせる環境を整えるため、防災や防犯に関する事業に取り組んでいきます。



地域防災訓練の様子（高浜地区）

「子育て・教育応援プロジェクト」では、子育て・教育に関する取り組みを積極的に実施し、充実した子育て・教育環境をつくることで、生活力の向上を図ります。

現在、市内の保育所数は県内でも上位です。また、子育ての不安を解消するための地域子育て支援センターも市内に5か所



校舎改築工事に着手する柿岡中学校

あり、子育て環境は充実しています。一方で、児童・生徒数は減少しているため、統合計画審議会の答申に基づいた適正規模での統合や、学校施設の耐震化工事を推進するなど、児童・生徒の望ましい教育環境づくりに取り組んでいきます。

共通テーマ

今回の各プロジェクトを実施するための共通テーマとして「市民との協働によるまちづくりプロジェクト」を創設しました。

市民と行政が、お互いの得意分野を活用しつつ、立場を理解し合い、尊重し、共通の目的に向か

う「協働」の関係を確立し、活力あるまちを目指していきます。

協働のまちづくりについては、講演会などの開催のほか、広報紙やホームページで情報を発信していきます。



協働でアジサイの植栽を実施するバス専用道

以上が、平成23年度に臨む基本的姿勢と市政運営のあらましです。

私は、平成23年度予算を積極的に執行し、地域の元気を発信していくことにより、今回の東日本大震災で被災された人たち、そして地域が復興に向け、前向きな気持ちになっていただけるものと強く確信しております。

皆さんと力を合わせ「がんばろう日本」に向け「元氣いしおか」を実現してまいります。

一般・特別
総額

億円

478

平成23年度
予算

一般会計

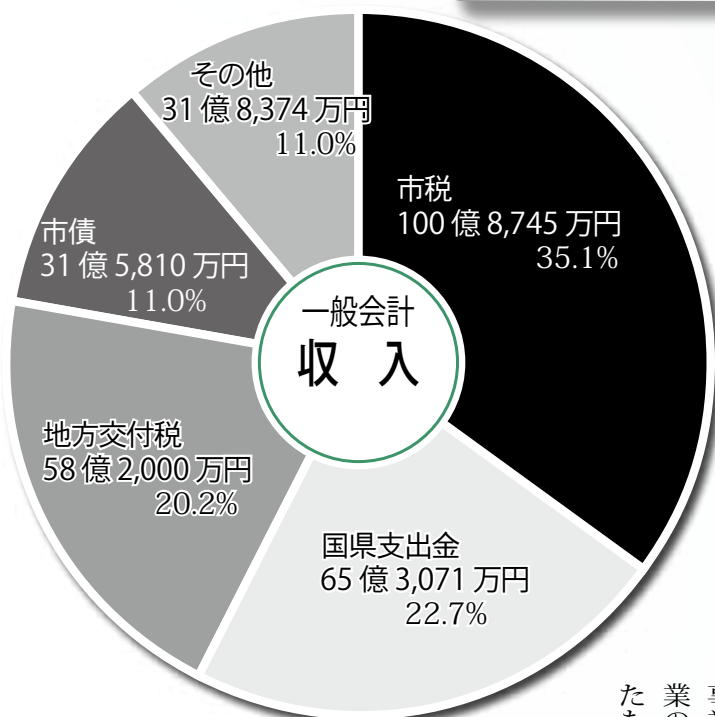
287億8,000万円

特別会計

190億8,176万円

一般会計 収入

287億8,000万円



平成23年度の一般会計予算は、287億8000万円です。前年度と比べ10億7600万円の増額、3.9%の伸びとなっています。国民健康保険や介護保険などの特別会計を含めた全体の予算規模では、前年度より3.0%、14億700万円増加し、478億6176万円となっています。

一般会計の収入の主なものとしては、市税が前年度と比べ3.0%、2億9800万円増の100億8745万円、地方交付税が前年度と比べ1.9%、1億1000万円増の58億2000万円、国県支出金の65億3071万円などとなっています。

支出は、「元気いしおか」を効率的に実現するための「リーディングプロジェクト」に重点を置いた配分としました。「リーディングプロジェクト」の主な事業として、雇用を創出

するための企業立地・誘致の取り組みとしての企業誘致推進事業・商業の再生のための中心市街地活性化事業・農力アップ推進事業・道の駅設置調査事業・駅周辺整備事業・柿岡中学校改築事業・放課後児童対策事業のほか、協働まちづくり推進事業などです。

特別会計は、前年度と比べ1.8%、3億3100万円増の190億8176万円となっています。

主な増額の理由は、介護保険事業の保険給付費、簡易水道事業の水道施設整備事業が増加したものです。

〔用語の説明〕

〔収入〕

市税：市民税や固定資産税などの税金

地方交付税：一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付される財政援助資金

国県支出金：特定の事業に対する国や県からの補助金など

市債：国や銀行などからの借入金

その他：使用料及び手数料、地方消費税交付金、分担金及び負担金、諸収入など

〔支出〕

目的別分類

市の経費を、行政目的によって総務費・民生費・土木費・教育費などに分類したもので、おおよその予算の比重を知ることができます。

総務費：市組織の運営、徴税、選挙、統計など

民生費：児童、高齢者、障害者、医療福祉、生活保護など

衛生費：各種検診や予防接種、ごみの収集・処理など

農林水産業費：農業・林業の振興など



特別会計予算額

190億8,176万円

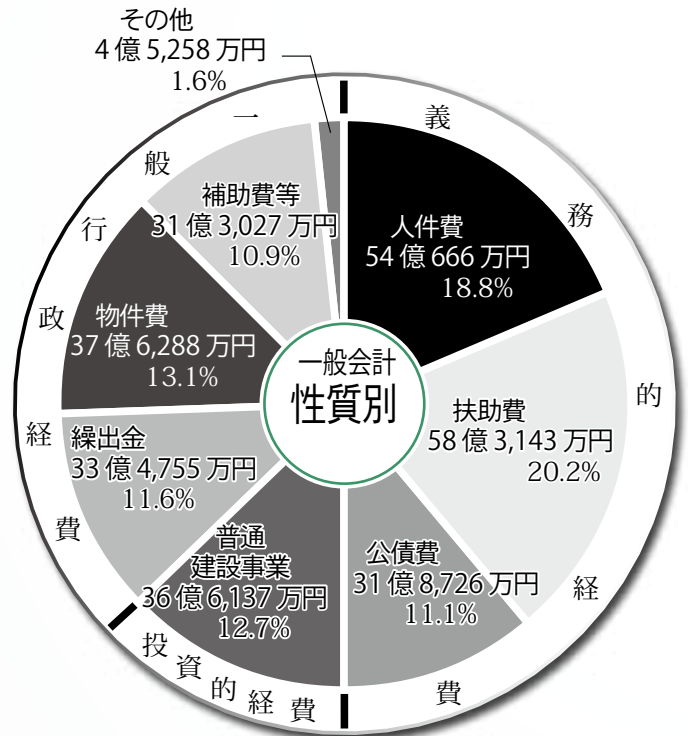
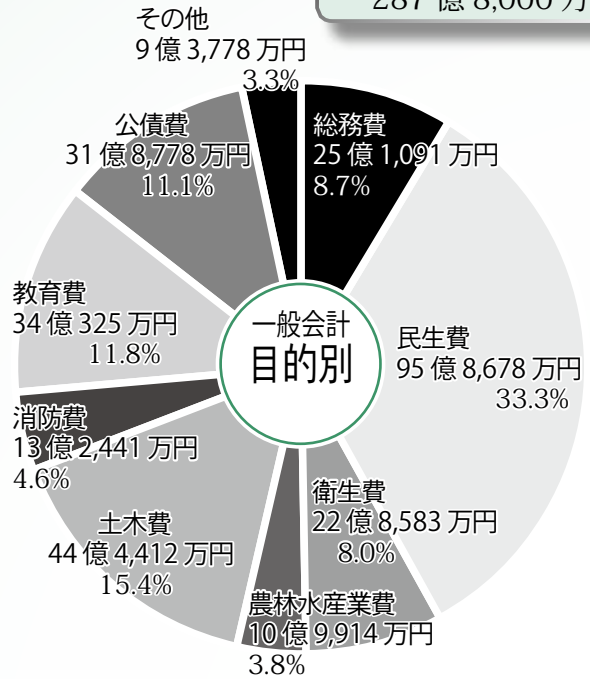
(単位：万円)

特別会計名	平成23年度	対前年度比	
		増減額	増減率(%)
授産所	2,341	△344	△12.8
国民健康保険	90億3,444	△2,856	△0.3
簡易水道事業	1億1,544	8,688	304.2
下水道事業	24億4,644	△210	△0.1
駐車場	2,091	263	14.4
老人保健	0	△302	皆減
農業集落排水事業	3億4,291	1,928	6.0
霊園事業	2,290	335	17.2
介護保険	52億8,877	2億4,781	4.9
介護サービス事業	2億9,255	197	0.7
後期高齢者医療	6億3,380	△1,358	△2.1
水道事業	8億6,019	1,937	2.3
特別会計計	190億8,176	3億3,059	1.8

(△印は前年と比べマイナス)

一般会計支出

287億8,000万円



土木費：道路や橋、公園などの整備や管理など

消防費：火災や水害などから市民を守るための経費

教育費：小・中学校の整備や生涯学習、スポーツ振興など

公債費：借り入れた市債の返済にかかる元金、利子

性質別分類

市の経費を、経済的性質を基準として、人件費・扶助費・普通建設事業などに分類したもので、財政の分析に重要な分類です。

人件費：職員の給与、共済費など
扶助費：生活保護、子ども手当、老人福祉費など

普通建設事業：保育所、学校などの公共施設の建設、道路や公園等生活基盤の整備など

物件費：施設の維持管理や運営など

補助費等：団体等の事業などに対する補助金や負担金



「元氣いしおか」を効率的に実現するために

リーディングプロジェクトの主な事業

産業力の向上

産業立地プロジェクト



柏原工業団地

1人につき10万円補助（最大3年間）

・工場立地法に基づく環境施設・緑地面積率の緩和

・企業立地促進法に基づく支援
・企業活動をワンストップサービスで一括サポート

◇木の住まい助成事業

500万円

市内在住者および市外からの転入者（子育て世帯）が、木造住宅を新築・改築または購入する場合に、費用の一部を助成することで、市内商工業の活性化と定住人口の増加を図ります。

【実施事業】

◇充実した優遇制度

・固定資産税と都市計画税の3年間免除

・法人事業税（3年間）と不動産取得税の課税免除（真実施事業）

・従業員が5人以上増加すると

安全・安心な生産物の販路拡大のため、市内外への情報発信を積極的に実施し、農業の振興を図ります。

○JIGONAプロジェクト

パン小麦の栽培と製粉および商品開発を実施し、地域ブランドの確立を図ります。

◇道の駅設置調査事業 67万円

道路に付帯する休憩施設としての役割と、日常生活に密着した農産物直売所としての役割を兼ねた、道の駅設置に関する可能性調査を実施します。地域における連携強化の場として、また、情報発信の場としての活用を検討します。

●関連事項

◇就農に対する支援

市では、各関係機関と協力し、就農しやすい環境を整えます。

◇朝日トンネルの整備

10億480万円

平成24年度に開通を予定している朝日トンネルを活用し、里山文化を活かした交流・体験型の観光（グリーンツーリズム）を活発にします。

都市力の向上

中心市街地の活性化プロジェクト

【実施事業】

◇駅周辺整備事業

3億525万円

市の玄関であり、市内外の重要な交通結節点であるJR石岡駅周辺の機能強化および駅東西の利便性の向上を図るため、JR石岡駅の橋上駅舎化整備や駅西口広場の整備を一体的に実施します。これにより、駅西口への人の流れを活発にし、中心市街地の活性化を図ります。

◇中心市街地活性化事業

500万円

人々が楽しく快適に買い物ができる魅力ある商業空間を創出するために、商店街などが実施するイベントや景観整備に対して支援します。商店街独自の取り組みや組織づくりを強化し、中心市街地の活性化を目指します。

●関連事項

◇鹿島鉄道跡地バス専用道

鹿島鉄道跡地バス専用道を整

備し、平成22年8月にBRTの実証運行を開始しました。中心市街地へのアクセスを向上させ、まちの賑わいを創出します。

◇テナントミックス事業

394万円

個性的な商業の活性化に加え、歴史的資源を活かした様々な人々が行き交い、賑わうまちを目的として、平成22年度にスィーツアンテナショップと農産物直売所が開店しました。

生活力の向上

安全・安心まちづくりプロジェクト

【実施事業】

◇土砂災害ハザードマップ作成事業 1134万円

現在、市には土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域として指定された区域が49か所あります。

指定区域ごとの異なる地勢や住民の意見に基づき、個別の避難計画を策定するため、実態調査を実施し、地域防災計画およびハザードマップにより区域ご

とに計画を立案し周知します。

◇木造住宅耐震改修促進事業

535万円

市の木造住宅の耐震化率は65・6%となっています。大震災発生時の建物の倒壊などに備えるため、耐震化率を高める必要があります。

市では、木造住宅の耐震診断および改修費用の一部を助成するとともに、耐震改修に関する情報提供などにより安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

●関連事項

◇救急医療に対する取り組み

3105万円

休日および夜間、患者の医療を確保するために病院群輪番制病院の運営を支援します。

◇防犯に対する取り組み

犯罪から市民の生活を守るため、市では、石岡駅周辺や高浜駅の5か所に防犯カメラを設置しました。

また、市民と協働で安全を守る取り組みとして、エンゼルパトロールを実施しています。



子育て・教育応援プロジェクト

【実施事業】

◇柿岡中学校改築事業

7億871万円

柿岡中学校の改築にあたっては、生徒数が減少している現状を踏まえ、生徒の望ましい教育環境の向上を図る観点から、統合計画審議会答申に基づき、有明中学校、柿岡中学校と八郷南中学校を統合し、地域活動の拠点・シンボルとしての役割も担ってまいります。

◇放課後児童対策事業

1億4769万円

放課後などに保護者のいない家庭の児童の健全育成と、児童に安全な場所を提供するため、



遊びを主とする健全育成活動を行う児童クラブを設置し、児童の福祉の向上を図ります。

平成23年度は、これまで順次実施してきた6年生までの受け入れ延長を市内の全小学校に拡大します。

◇医療福祉費単独事業

(マル福制度の充実) 261万円

中学3年生まで、入院にかかる医療費を助成するとともに、第3子以降の小学6年生までに対しても、外来にかかる医療費を助成することで、子育て世代の負担軽減を図ります。

●関連事項

◇統合保育所・地域子育て支援センターの開所

柿岡、葦穂、恋瀬、瓦会、林保育所を統合し、平成22年4月に開所した『やささと中央保育所』では、0歳児保育など保育ニーズに対応したサービスを充実させるとともに、地域子育て支援センターを併設し、保育所に通わない子とその保護者が気軽に集い、相談できる場を提供しています。

◇市内保育所(園)の新規開園

平成23年4月1日に、認定こども園(幼保連携型) 1施設が認定されました。これにより5つの公立保育所、9つの私立保育所、1つの認定こども園となり、子育て環境が充実しました。



共通テーマ

市民との協働によるまちづくり



バス専用道の除草作業

【実施事業】

◇協働まちづくり推進事業

30万円

○人材育成
・まちづくりコーディネーターの育成

市の組織や実例の勉強・研修会を開催し、地域のリーダーとなる人材として、まちづくりのリーダーを育成します。

・人材の発掘
定年退職者の人材発掘。活力や体力的な資質が豊富であるこ

とからリーダー的立場として、それぞれの専門性、特殊性を市の行っている多種の業務に活かします。

○自治組織の地域力

各自治組織のさらなる地域力を推進します。

○啓発・情報発信

協働のまちづくりについて、講演会などの開催のほか、広報紙、ホームページで情報を発信します。

◇バス専用道植栽計画

60万円

鹿島鉄道跡地バス専用道の沿道を地元住民と協働で整備します。沿道へのアジサイの植栽を実施し、維持管理をします。

※これらリーダーディングプロジェクトの取り組みにより、限られた財源のもと、事業の選択と集中を図り、最小の経費で最大の効果を発揮し、さらには市民と行政が「協働」の関係を推進していくことで、人が集い、安心して暮らし続ける、誇れるまち「元氣いしおか」を実現させていきます。



めざそう 総務省の行政相談 住みよいまちづくり

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された身近な相談相手として、行政に関する相談などを受け付け、その解決に向けた活動をしています。

市には、3人の行政相談委員が活動しています。

毎日の暮らしの中で、困っていること、悩んでいることなど気軽に相談ください。

また、行政相談所も下記日程により開設しますので、気軽に相談ください。

行政相談委員（敬称略）

惣野代 悌孝（東光台三）

横田 まさ（山崎）

矢口 輝行（谷向町）

柏原工業団地内の案内標識



▲改善前



▲改善後

行政相談所開設

相談は、無料・秘密厳守です。

場所 中央公民館相談室
日時 午後1時～3時

5月13日（金）
9月9日（金）
11月11日（金）

場所 市役所1階会議室
日時 午後1時～3時

7月8日（金）
1月13日（金）
3月9日（金）

資源ごみ回収に補助

子供会などの廃品回収

子供会などの団体が廃品回収を年2回以上実施した場合、予算の範囲内で回収重量1kg当たり4円の補助金を交付します。申請時期は、9月と2月の年2回です。申請には事前の登録が必要です。

補助金申請に必要なもの

- 1 取引業者伝票
- 2 団体の代表者印
- 3 団体または代表者の金融機関口座番号

●登録・申請・問い合わせ
環境対策課

☎ 23・1111
(内線146)

※生ごみ処理容器設置補助金は廃止になりました。



憲法週間 5月1日～7日

～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～

みんなで築こう人権の世紀

人権擁護委員（敬称略）

曾根田隆光（国府六）

額賀 密（根当）

大塚 郁郎（国府一）

青木 祥太（大増）

内山 侑一（国府四）

皆川 信之（根小屋）

永田 弘見（茨城一）

中村 俊三（柿岡）

大和田清美（東成井）



●問い合わせ

水戸地方事務局土浦支局

☎ 029・821・0792

秘書広聴課

☎ 23・1111（内線212）

●問い合わせ

総務省茨城行政評価事務所

行政相談課

☎ 0570・090110

秘書広聴課

☎ 23・1111（内線212）



シリーズ14
アナログ放送終了まであと2か月

地デジの準備をお急ぎください!



2011.7.完了
地デジ化

Analogue broadcast will fully ceases on 1st October (broadcast by July 2011)
© 2011 NHK

アナログ放送は、7月24日正午から、ブルーバックの「お知らせ画面」に移行し、24時までにはすべての放送が完全に終了(完全停波)します。

それまでの間に、地デジを視聴するための準備をしないと、テレビを見ることができなくなってしまう。

7月24日のアナログ放送完全停波が近づくと、アンテナの設置・調整などの工事が集中し、同日までに間に合わなくなる可能性がありますので、早目に対応ください。

連載第14回目は、最近増えている「地デジ詐欺」の事例と被害にあわない方法について紹介します。



「地デジ詐欺」に注意ください!



先日、総務省職員を名乗る人物が突然自宅に来て、

①「地デジを見られるようにするから工事代金を前金で支払ってほしい」と言われまして。

・私の友人は、NHK職員を名乗る人物から突然電話があり、

②「地デジが始まったから受信料の追加分を振り込んでほしい」と言われたそうです。

・他にも聞くところでは、

③「アナログ放送の延長をするのに料金がかかる」といった電話もあるようです。

これらは「地デジ詐欺」なのでしょう吗?

地デジ対応を口実にした詐欺の可能性が高いです!

行政職員や放送事業者職員を装った「地デジ詐欺」の被害が全国各地で報告されています。

①行政や放送事業者が地デジ対応を名目に代金を請求することは一切ありません。

②従来のNHKの受信料とは別に、地デジを見るための新たな受信料をいただくことはありません。

③アナログ放送は7月24日で終了します。料金をもらって延長することはありません。

アナログ放送終了が近づくにつれ、このような詐欺が増えてきますので、被害にあわないよう、十分に注意してください。



地デジサポートスタッフは黄色いベストが目印です!



「地デジ詐欺」の被害にあわないために、次の四つを常に心がけてください。

- 頼んでいないことに対する請求や身に覚えのない請求は、つきり断る。
- 絶対に部屋に上がらせない。
- 訪問者の名前や連絡先などを聞いてメモし、身分証明書の提示を求める。
- 一人で判断せず、家族や信頼できる近くの電器店、デジサポに相談する。

デジサポは、地デジに関する皆さんの不安を解決します。「あれ?おかしい?」と思ったらデジサポや警察に連絡をお願いします。

デジサポスタッフ

デジサポスタッフは左のような黄色いベストと腕章、身分証明書を着用しています。原則として、突然に訪問することはありません。また、工事代金を請求したり、振り込みの要請をすることも一切ありません。



デジサポスタッフユニフォーム

地デジの準備について「何をすれば良いかわからない」という人や「テレビを買ったのに地デジが見られない」という人には、デジサポがお手伝いします。まずは、デジサポまで電話ください。

問い合わせ

地デジ電話受信相談

デジサポ茨城

☎029-3307-0101

(平日は午前9時~午後9時、土・日・祝日は午後6時まで)

暮らしの中の税だより

平成22年分

確定申告を終えて



平成22年分の確定申告は2月16日から3月31日まで、市役所と八郷総合支所の2会場で行いました。申告期間は、通常3月15日までですが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で、所得税の申告期限が延長されたことにより、市では3月31日まで受付期間を延長しました。

は、收支内訳書を作成してくれたことにより、職員が改めて計算をするようなことがなく、申告システムに入力することができました。

＊待ち時間などについて

待ち時間を少しでも短縮するよう心がけていましたが、申告者の内容により、日によって申告相談事務の進行時間が異なることがありました。

＊申告相談受付件数

石岡会場	5602件 (1517件)
八郷会場	3883件 (1497件)
合計	9485件 (3014件)

※()内は、市県民税の申告で、割合は約32%でした。

＊自主申告

申告相談ではなく、自分で申告書



を作成し、自主申告をする人が年々増加しています。また、昨年の申告から石岡会場の待合室

にパソコンを配備し、国税庁の申告システムにより、自分で申告書を作成することができ、利用方法など詳しくは、説明員が対応しますので、ぜひ利用してください。

＊事前記入でスムーズな申告に！

申告を受ける際に、申告者が事前に次のような準備をされたことにより、スムーズな申告となりました。

例えば、医療費控除を申告する場合は、あらかじめ領収書や内訳・合計金額をまとめてくれたり、農業所得や営業所得の人

＊お詫び

今回の確定申告では、3月11日の地震発生により、相談中の人や順番を待っていた人には、そのまま中断となってしまい、

迷惑をおかけしました。

また、地震による停電でシステムの回復が心配されましたが、3月14日から石岡会場では予定どおり申告相談を再開することができました。

しかし、八郷会場では再開が3月17日となり、不便をおかけしたことにつきまして、お詫びいたします。

問い合わせ

税務課 市民税担当

☎23・1111 (内線117)



不動産公売情報

茨城租税債権管理機構では、一般の人も参加できる入札により不動産の公売をします。

【日時】 6月7日(火)

午後1時20分～2時

【場所】 水戸合同庁舎5階会議室(水戸市柵町1-3-1)

【公売物件】

石岡市部原字久保815番1地目 雑種地

3月の差押件数	
不動産	3件
預貯金	15件
合計	18件
22年度累計	599件

納税相談・納付受付

市役所収納対策課

夜間 毎週水曜日(祝日除く)

午後5時15分～7時

休日 毎週土曜日

(年末年始を除く)

問い合わせ 午前9時～午後4時

収納対策課

☎23・1111 (内線112)

地積 1652㎡

※公売は、事情により中止となる場合がありますので、事前に担当課に連絡ください。問い合わせ

茨城租税債権管理機構

☎029・225・1221

http://www.hbaraki-sozei.jp



ごみ出しはルールを守って

石岡地区 牛乳パック拠点回収

牛乳パックの拠点回収をしていますので、協力願います。

【回収場所】

- ・市役所 環境対策課
- ・石岡市民会館・中央図書館
- ・ふれあいの里石岡ひまわりの館
- ・各地区公民館
- （国府・府中・東・城南）
- ・勤労青少年ホーム
- ・児童館・児童センター
- ・旭台会館



【出し方】

内側を水洗いして切り開き、乾燥させてから出してください。
内側がアルミコーティングされているパック、カビや汚れのあるパックは回収できません。

石岡地区 ごみの出し方

空缶やびん類、ペットボトルなどはコンテナに入れて集積所に出してください。

コンテナに入りきらないなどの理由により、袋で出ていることがあります。回収は当日の「ごみ」のみで袋は回収されずに残され、その袋が風で飛ばされるなど近隣の迷惑となります。なお、コンテナは市から配布していません。色の指定はありませんので、市販品を購入するなど、集積所を利用する皆さんで検討してください。

*びんは、色別に出してください。



生ごみは水切りしてから

生ごみは、水分を多く含んでいるので、ごみ袋から水分が垂れることがあります。水切りネットなどを使用し、袋に入れる前に、さらにひと絞りしてから出してください。

★水切りのメリット

- ① 悪臭や腐敗防止に役立つ
- ② においがなくなることで、猫やガラスなどによるごみの散乱を防ぐ
- ③ 重量が減り、ごみの軽量化が図れる
- ④ ごみ処理場の焼却効率やごみ収集車の運搬効率が向上し、二酸化炭素が削減される



「無色びん」と「ガラス類」は分別して

「無色びん」は、コップなどの無色透明の食器類や板ガラスとは、同じガラスであっても材質が異なるため、分別が異なります。

『びん』は細かく砕いて原料となり、新たなびんや建築・園芸資材などへ効率的にリサイクルされます。そのためには、色別に分別する必要があります。色の判断は、キャップをはずした口元の色で確認してください。

キャップを外して中をゆすぎ、色別に出してください。

『びん』以外のコップやガラスなどは、石岡地区では「陶器類」に、八郷地区は「不燃ごみ・カン」に出してください。
※八郷地区では、殺虫剤や化粧品などの薬品びんは「不燃ごみ・カン」に分別してください。



ペットボトルはつぶしてから

ペットボトルはかさばるので、つぶしてから出してください。

中を洗い流して「ペットボトル」回収日の決められた時間までに集積所に出してください。キャップとラベルは外して、石岡地区は「燃えるごみ」、八郷地区は「プラスチック」に分別して出してください。

※石岡地区では、5月から10月までペットボトルの回収を月2回行います。ごみ収集日カレンダーを確認ください。



足などでつぶす

●問い合わせ

環境対策課

☎ 23・1111

(内線146)